



湯本の探湯斜坑

掘進進行に決定

全然失敗でなく廿五立方に十四立方の湧出を見て

石城郡湯本町に於ける湯泉復活の探湯斜坑掘進は、決定地點に到達せるも所期の湧量二十五立方に對して十四立方（掘氏五十一度）に過ぎず現在のまゝでも大復活は出来るものゝ一方の減湯を慮せば物足らず目下切詰位置からのボーリングを試み幾分の湧量増加を見てはるが更に掘進したるものかどうかに就て賛否に分れてゐる區會の進行を去る廿三日開議の結果八万二千圓の工費豫算に對し三萬一千圓を超過する既に十一萬三千圓を投じてゐるが引續いて掘進するを可とするもの絕對多數を示し終始反對一點張りの大井川議員の如き憤然議席を離れたが工事進行を可決され今後更に技術家の研究に問ひ右工事期間が今九月一擧で終るものゝ重ねて縣の認可を請ひ掘進することになつた同工事費は舊區區の積立金を以て十分を見込みである

優良團員表彰

石城郡湯本町入山炭礦青年團に於ける秋季總會は別項所載の如く去る二十五日開催、時局講演と映畫會を催されたが席上表彰された優良團員は左記二十一名である

玉川村の公葬

石城郡玉川村では、瀧國境砂草峯の激戦で名譽の戦死を遂げた同村岡小名字作五出身中野良上等兵の公葬を去る二十八日午後一時小學校講堂に於て執行する

石城郡の煙草栽培

百町歩以上を豫想

郡南七〇町歩郡北四〇町歩 愈よ明年から實施

石城郡に於ける煙草栽培は、愈よ明年から實施の管であるが栽培希望面積既に二十五町歩餘に達してゐるので指導の結果は四十町歩以上に及ぶであらうと

農林技手の港灣

調査

農林省の太田技手は本縣港灣調査のため今二十六日縣土木課の後藤課長と共に濱通りに出張し双葉郡久の沼町形跡を見たる後石城郡へ移り四倉町から沿岸を勿來町に至るまでの

Table with 2 columns: 日刊新聞日曜日誌, 日刊新聞日曜日誌. Lists various news items and their page numbers.

入山青年團總會

石城郡湯本町の入山炭礦青年團は昨二十五日午後六時から入山小學校に總會を開き優良團員二十餘名を表彰、終つて瀧州移民團の視察講演と映畫會を併して一般に入場させ盛會であつた

滿州移民座談會

石城郡赤井村では今二十六日午後一時から同村第二小學校に於て瀧州農業移民座談會を開き同六時から映畫會を開催す

海中に飛込み 人命救助

小名濱の岸壁で小名濱の下町金成留吉方船大工鈴木春藏(三)同古淡漁船機關士南部行雄(二)兩君は去る廿一日朝八時頃同町榮町町營魚市場前築港附近で作業中岸壁に無心で遊んでゐた古淡の作山芳太郎二男健二(五)君が漁船繫留の綱のため足を掛はれ海中に轉倒溺死せんとするを發見し着衣のまま海中に飛び込み無事救助したので平署から表彰される

報知杯将棋大會

第二回報知杯将棋の將棋大會は去る二十四日午前十時から平市五丁目吉田屋旅館方で開催されたが左記入賞した

戦地 夜間でも屋内の便 温度が九十五度

石城郡飯野村出身 青木利光

謹啓、御手紙誠に有難く拜見致しました、其の後皆様に御健勝にて御精進のことと結構に存じます、皆様の御蔭様にて小生も元気で務め居ります他事ながら御休心の程御願申上げます、内地も最早や暑さも厳しく相成り毎日の御務めに如何程か御苦折のことと御座います、過日の洪水には幸にも御當地は被害なしとの御事何よりと存じます、新聞紙上に内地の豪雨を知りました、殊に自分の目を止めたことは常磐線の不通過、東海道本線の不通過、此の近年稀有の豪雨には皆様、何程か御苦勞であつたか、はつきりと自分には認識されました、此の被害の後を憂ふものは矢張り悪疫ですかどうか皆様も御注意なされて何時も健康の喜びにて御精進あらんことを偏へに御祈り申し上げます、この中支の〇は今二十六日國防費へ金百圓、相當の暑さでまづ百三十度市の軍事後援會へ金九十圓同市舊城跡青年團へ金十圓を寄附した

本社半谷氏から 恤兵献金五圓

彼岸に受けた香料 本社半谷政喜氏は平市第一小學校奉職中病死者の嗣子義七の遺言に本縣師範昭和七年卒業の同級生三十名が同級出身で故人となつた三名へ今彼等の香料として昨二十五日クラス代表平第二小學校訓導吉田正二氏の贈りに贈られたものの中金五圓也を今二十六日恤兵献金方市役所に寄託

大脇檢事献金

平區裁判所檢事大脇英夫氏は今二十六日國防費へ金百圓、市の軍事後援會へ金九十圓同市舊城跡青年團へ金十圓を寄附した

史家の態度を明にす

(特に湯本の正義町民に與ふ) 勿來學人

軍人遺家族慰問の映画會

石城郡神谷村の在籍軍人分會では今二十六日午後七時から同村小學校に總會を開き出征兵の遺家族慰安資金造成の映畫會を開催す

兒童の籠球大會

石城郡教育會第四區兒童籠球競技大會は去る二十二日開催されたが成績左記の如くであつた

洋服組合の創立

平市洋服商業の商業組合設立に關する協議會は廿五日市内紺屋町湯本無盡支店樓上に開催し、來月十日マートモに創立總會を開く筈だが同業四十名である

青沼市長の湯治

青沼市長は去る防空演習の夜間警備に當り腰骨を捻挫静養中であつたが今廿六日から五日間勿來町白米温泉で湯治をなす

平市果樹組合の 荷造改善品評

幸ひなるかな、昭和三年秋今上陛下御即位記念獻進の爲に、佐賀學舎に於て、私に『磐城史料圖譜』の撰述を委嘱されるので、千載一遇の光榮に會したので、私は先づ之を撰し、又該の附録たる「磐城史概論」を草稿するに至つて茲に思ひ附いたのは、葉の輪王寺宮の湯本御少監宅の訂正であつた。されば私は再び同項に就いて、其の際、湯本町

茶目子捕はる

平市銀治町藤枝置屋玉川家事に關する協議會は廿五日市内紺屋町湯本無盡支店樓上に開催し、來月十日マートモに創立總會を開く筈だが同業四十名である

女混りの花賭博

石城郡内郷村の日野炭礦支柱夫原田八百次(五)方に於て去る二十三日夜同人外同炭礦の高橋源七(四)同大橋たか(三)が現金賭けの花札合戦中平署員に踏込まれて檢舉された

平商校後任教諭

平商業學校教諭新田繁氏が新潟縣高田高女に轉じた後任は栃木縣青年學校教諭永瀬治氏に決まつた

學校基金五十圓

小名濱町の小島内山徳治氏は亡父の遺志により同町小學校基本金の中へ金五十圓を寄附した

湯本の二史蹟に對して

例へば昌平氏宅を否定した者)などであり、又現存人々々の名を参考まであげるは昌平氏宅の四圍の古老連で、故人では小盛三代喜(元)あつた。(今尙之に就き種々批難するのを聴く)

農業方面

孵化した雛の 雛を放翔

野生鳥獣繁殖場
にて面白い研究

東京府の種畜場では府下西多摩郡戸倉村野生鳥獣繁殖場で孵化した雛一千二百羽を府下の村営獵区に放翔させることになり本年七月下旬から随時これを放つたが害虫の驅除と戦時下の食肉問題解決や習性繁殖の調査、獵区地元町村の収入増加等あらゆる方面から研究と費用に供しやう目的をもつて今年は特に育てやらかつた大量の放翔を行つた。明十四年は更に千五百羽を放つ計画で従来の研究成績に鑑み今年から孵化後三十日乃至六十日ぐらゐのものを放ち、林省の獵区が完全に發育したるものを放つのに未だ充分發育してゐないものを放つて見て、其れがどの程度に繁殖したなどの程度に放翔区域内に棲息するものかを研究しやうとする目的もあつて此の試みは非常に其の成績が期待されてゐるが右について同場の機野技手の語るところは次の如くである。

雌と云ふ鳥は完全に育つたものは其の土地が變着がななく、害虫に對しても警戒が緩慢なので若い雛の中に放つて見やうことにした譯であるが足または羽に番號をつけて置くか、捕獲したるもの及び拾つたものは此の番號を付した標識を農林省に送つてもらひたい、其れによつて此の成績をつき止めやう考へなごこれ

が貴重な研究資料であるから吾々に協力して欲しいと、(完り)

牛も豚も優良品の自慢

肉の御 三三三屋 平市 田町
用命は 三三三屋

平一丁目角

山野邊

幸福の父
健康の母たらんには
召し給へ！
機那サフラン酒は
子寶を得て易し。

定價 二圓二角五分

吉澤仁太郎 房藥部

機那サフラン酒

債券 公債 兩替 金融

多田井質店

平市大工町

電話五九一

平病院

院主 院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
一般外科 部長 高橋俊幸
皮膚泌尿科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に從事す(急患は此の
時間 別にあらす)

皇軍戰勝—冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電話一四〇

豐富陳列 漸新型

子供帽子 中折帽子

スヘイン G.H.N 元話

ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒 1・2・0

婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です

藤沼醫院 平市紺屋町 電話五〇七

(平2) 西村屋藥舖 (電3)

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一
入院隨意
病室完備

木村病院 電話一六四番

安田系統の帝國海上

帝國海上火災保險株式會社

平代理店 關内正一郎
電話一六番
平務取扱者 阿部助次郎

專門 皮膚科 泌尿科 性病科

診療時間 午前八時より
午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九一

院醫尻江

優良品 高品質

眞砂屋

眞砂屋 電話五六

洋品類

眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新)

電話五六